

2023年04月 現在

FUJITSU Software

Interstage XWand Toolkit V13.7.0

本商品は、XBRL文書を参照・作成・編集するためのXBRLツールを提供します。

- ・ クライアント

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- ・ クライアント

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

1. XBRLについて

XBRLは、財務報告の作成・監査・流通・利用を容易にするためのデータ記述言語として、XMLをベースに開発された言語です。

XBRLにより、電子的な財務情報の作成や流通・再利用にかかるコストの大幅な削減と、正確な財務情報の利用が可能になります。

有価証券報告書、決算短信などに対応した標準タクソノミーも公開されており、四半期業績開示などこれからの企業経営にもXBRLが重要な役割を果たすものと期待されています。

XBRLの詳細については 関連URLの「XBRL Japan」のホームページをご参照ください。

2. XBRLツール

XBRLツールには、以下の機能があります。

(1)タクソノミー/インスタンスの参照・編集機能

- XBRL 2.0およびXBRL 2.1対応のタクソノミーエディタ/インスタンスクリエータ

5種類のリンクベースを別々に編集できる機能を提供し、XBRL文書をグラフィカルに表示して簡単な操作でタクソノミー / インスタンスを作成・編集することができます。

XBRL Dimensions 1.0仕様のタクソノミーやインスタンスも利用できます。

(2) タクソノミー差分ツール

- 二つの異なったXBRL 2.1タクソノミーの差分を表示する機能

XBRL 2.1仕様のタクソノミーを二つ読み込んで、それらの差分をグラフィカルに表示して簡単にチェックすることができます。

(3) フォーマエディタ

- Formula 1.0仕様に対応したエディタ

Formula 1.0仕様は、検証ルールを財務情報流通の関係者で共有することにより財務情報の品質を向上させ、その提出・収集に関わるコストや時間を大幅に削減できるのもです。

本機能により、インスタンスの値の計算式あるいは、検証ルールを容易に定義することができます。

(4) XWand Viewer

本ツールは、提出文書を監査人が確認するのに適したツールです。

XBRL2.1対応のインスタンスを、拡張リンクを1つのページとして分かりやすく表示することができます。

またインスタンスが、XBRL標準仕様やSEC(米国証券取引委員会)が策定したEDGAR Filerマニュアルや、HMRC(英国歳入税関庁)のスタイルガイドに沿っているかどうかを検証し、その結果をExcel形式で参照することができます。

さらにInline XBRLのレビュー機能で内容の確認を行うことができます。

(5) インスタンスダッシュボード

本ツールは、複数のXBRLデータの比較に適したツールです。

XBRL2.1対応のインスタンスを複数読みこみ、並べて表示することができます。このため同業他社比較、1つの会社の経年比較を容易に行うことができます。

表示結果は、Excel形式で出力できますので、Excelでの情報の再利用が容易になります。

3. 他システム連携機能

他システムとの連携には、以下の機能があります。

(1) Excel連携機能

Excelを使用して、インスタンスを作成する機能です。本機能により、Excelフォームに入力された数値データからインスタンスを作成できるため、XBRLの専門知識がなくとも、使い慣れたExcelを使ってXBRL対応することができます。

本商品では、以下の3種類のツールを提供します。

- シートマッピングデザイナー

入力フォーム(Excel)のセルとタクソノミーの科目の対応付けを定義します。

- シートインスタンスクリエータ

対応付けに基づき、値が入力されたExcelファイルからインスタンスへの変換を行います。

- マニフェストエディタ

入力フォーム、タクソノミー、雛形となるインスタンス、対応付け定義など、Excel連携機能を使用してインスタンスを作成する時に必要な各ファイルの関係を定義したものをマニフェストファイルと言います。本ツールでマニフェストファイルを作成します。本ツールで作成した定義ファイルを、シートマッピングデザイナー、シートインスタンスクリエータで利用できます。

(2) Word連携機能

Wordを使用して、インスタンスを作成する機能です。本機能により、Wordフォームに入力されたデータからインスタンスを作成できるため、XBRLの専門知識がなくとも、使い慣れたWordを使ってXBRL対応することができます。

本商品では、Wordへのプラグイン機能を提供します。

(3) データマッピングツール

データマッピング機能は、インスタンスを、データマッピング定義に従い、RDBに格納しやすい形式(CSV)に変換する機能です。インスタンスをRDBなどで利用可能なCSV形式に変換することにより、既存システムを変更することなく、容易にXBRL対応することができます。

本製品では、データマッピング定義を行うためのツールを提供します。

4. 用語について

(1) XBRL(eXtensible Business Reporting Language)

企業や団体の財務情報の透明性/適時性/正確性の確保や財務情報のタイムリーな開示・流通を行うために作成されたXMLをベースにした拡張可能なビジネスレポート言語

(2) XBRL文書

XBRLで記述された文書。インスタンスとタクソノミーにより構成されている

(3) インスタンス

財務情報を記述したXML文書

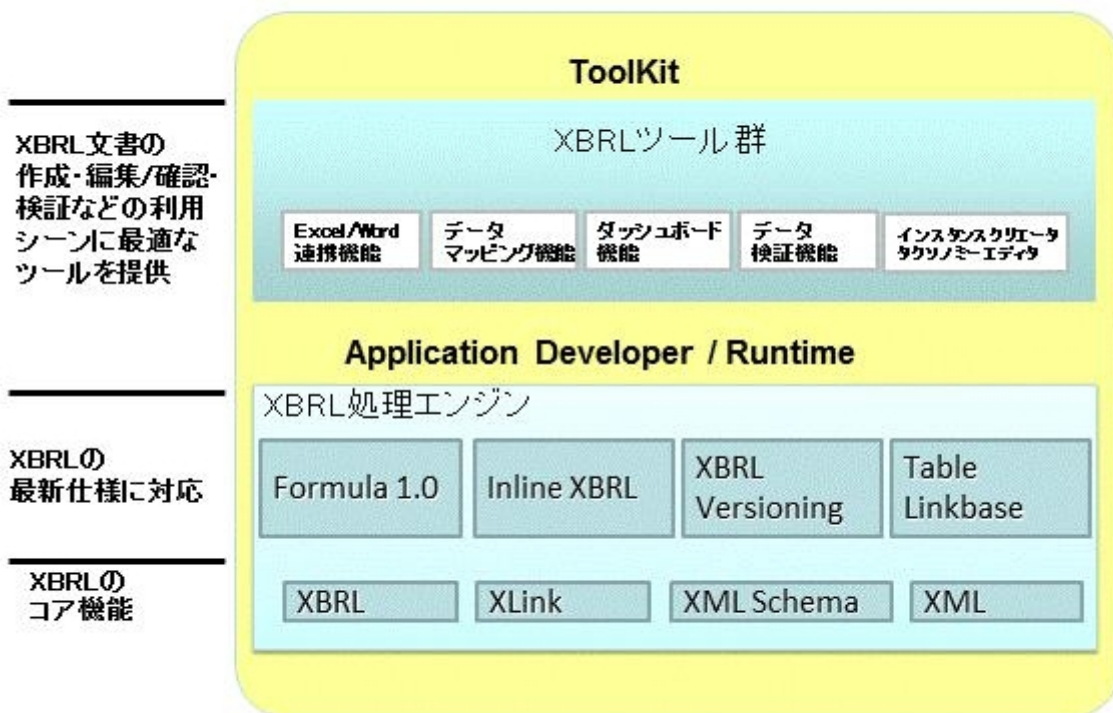
(4) タクソノミー

インスタンスの内容・構造・扱われ方などを定義したもの

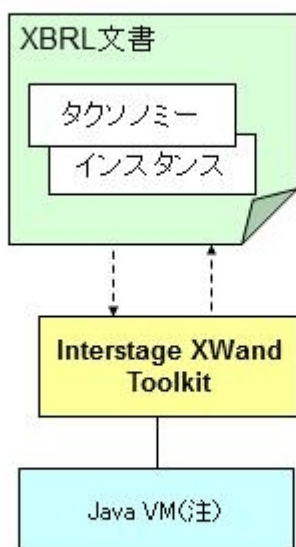
(5) フォーミュラ

Formula 1.0仕様に基づき、インスタンスの値の計算式、あるいは検証ルールを定義したもの

Interstage XWand



【XBRLツール利用時】



注: 関連ソフト参照

V13.6.0からV13.7.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Inline XBRLデータの新年号対応

Inline XBRL文書からXBRLインスタンスへの変換時に使用される、和暦から西暦への変換関数の新年号対応を行いました。

2. Table Linkbaseに基づくXBRLデータ作成機能の強化

既存の帳票ベースのデータ入力ツールにおいて、以下のように、使い勝手の向上をはかりました。

- ・ 多数ある検証ルールの検査支援機能の追加
- ・ 重複ファクトの削除機能の改善
- ・ Excelフォームの値セルのプロパティの出力機能の追加

- ・ **オンラインマニュアル**

- ・タクソノミーエディタユーザーズガイド(PDF)
- ・インスタンスクリエータユーザーズガイド(PDF)
- ・タクソノミー差分ツールユーザーズガイド (PDF)
- ・フォーミュラエディタ/データマッピングツールユーザーズガイド(PDF)
- ・シートインスタンスクリエータユーザーズガイド(PDF)
- ・Word文書タグ付け機能ユーザーズガイド(PDF)
- ・XWand Viewerユーザーズガイド(PDF)
- ・インスタンスダッシュボードユーザーズガイド (PDF)

【メディア】

Interstage XWand ToolKit メディアパック (64bit/32bit) V13.7.0

【永続ライセンス】

Interstage XWand ToolKit 1ユーザライセンス (1年間24時間サポート付) V13

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD-ROM 等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

64bit版と32bit版共通のメディアパックを提供します。

2. ライセンスについて

本商品は、1指名ユーザ毎に1ユーザライセンスを購入してください。

なお1指名ユーザとは、取得された1ユーザライセンス毎に、お客様の組織内で、本製品の機能を利用したソフトウェアプログラムを直接、あるいは間接的に利用する属人的かつ非独占的な権利を持つ1名の方を指します。

3. Interstage XWand Personal Runtime V7.0/V8/V9/V10, Interstage XWand Toolkit V11/V12/V13からのバージョンアップ/レベルアップについて

Interstage XWand Personal Runtime V7.0/V8/V9/V10, Interstage XWand Toolkit V11/V12/V13をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

1. XBRLツールを使用する場合

Java環境でXBRLツールを使用する場合は、以下の商品が必要です。

- ・ Interstage Application Server Enterprise Edition V13 (64bit商品)

なし

1. Interstage XWand Toolkitの動作モード

Interstage XWand Toolkitの動作モードは、インストールされているJava VMの動作モードに依存します。

2. XBRLの仕様について

以下のXBRLの仕様に準拠しています。

- ・XBRL 2.0 - 『Extensible Business Reporting Language (XBRL) 2.0 Specification 2001-12-14』
- ・XBRL 2.1 - 『Extensible Business Reporting Language (XBRL) 2.1 Recommendation 31 December 2003 with errata corrections to 20 February 2013』
- ・XBRL Dimensions 1.0 - 『XBRL Dimensions 1.0 Recommendation 18 September 2006 with errata corrections to 25 January 2012』
- ・Formula 1.0
- ・FRTA 1.0 - 『Financial Reporting Taxonomies Architecture 1.0 Recommendation dated 2005-04-25 with Corrected Errata 2006-03-20』
- ・FRIS 1.0 - 『Financial Reporting Instance Standards 1.0 Public Working Draft, dated 2004-11-14』
- ・Inline XBRL 1.0 - 『Inline XBRL Part 1: Specification 1.0 Recommendation 20 April 2010 with errata corrections to 17 August 2011』
- ・Inline XBRL 1.1 - 『Inline XBRL Part 1: Specification 1.1 Recommendation 18 November 2013』
- ・Table Linkbase 1.0 - 『Table Linkbase 1.0 Recommendation 18 March 2014 with Corrected Errata 2016-03-09』
- ・Extensible Enumerations 1.0 - 『Extensible Enumerations 1.0 Recommendation 29 October 2014』
- ・Extensible Enumerations 1.1 - 『Proposed Recommendation 08 February 2017』
- ・Taxonomy Packages - 『Taxonomy Packages 1.0 Recommendation 19 April 2016』
- ・Assertion Severity - 『Assertion Severity 1.0 Recommendation 19 April 2016』

3. JIS2004に関する注意事項

本商品では、JIS X 0213:2004をサポートしてません。本商品がサポートする文字セットの範囲はJIS X 0208です。JIS第三水準、JIS第四水準については、サポートしていません。

4. Excel連携機能について

Excel連携機能がサポートするExcelのバージョンは、以下です。

- Microsoft Excel 2016

サポートするExcelフォーマットは、Microsoft Excel Office ブック形式(拡張子がxlsとxlsx)です。ただしワークシートやブックの保護を行ったExcelファイルは、サポートしません。

5. Word連携機能について

Word連携機能がサポートするWordのバージョンは、以下です。

- Microsoft Word 2016

サポートするWordフォーマットは、Microsoft Word 2007のWord文書形式(拡張子がdocx)です。

6. IPv6環境での動作について

ツールでのコンテンツの読み書きにおいて、あるいは、ツールのURIマップの設定において、処理対象のファイルのシステム識別子をIPv6で記述する場合、省略形式ではなく、正規化表現で指定して下さい。

お客様向けURL

- **FUJITSU Software (Interstage XWand)**

本商品の詳細は、以下のInterstage XWandのトップページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/xwand/>

- **FUJITSU Software (ソフトウェアの一覧表 (システム構成図) と各種対応状況)**

価格/型名の一覧 (システム構成図) を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- **FUJITSU Software (ライセンス)**

富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/licensesupport/>

- **XBRL Japan**

XBRLの詳細については、以下のXBRL Japanホームページを参照してください。

<https://www.xbrl.or.jp/>